

令和6年播種（令和7年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔2月10日付調査結果〕

* 2月17日に調査を実施

1 気象概況〔12月中旬～2月中旬〕(図1)

- 平均気温は、1月第5、第6半旬は高温、2月第2半旬は低温となったが、それ以外の期間では平年並であった。
- 降水量は、1月第2半旬、2月第2半旬が平年より多く、2月は5日～16日にかけて12日間積雪が続いた。
- 日照時間は、12月第4半旬、1月第1、第4半旬は平年より多照、2月第2半旬は平年より寡照であった。

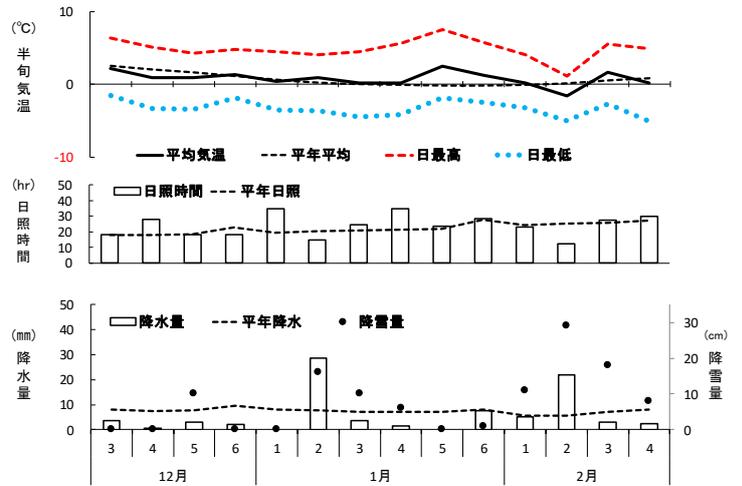


図1 気象経過 古川アメダス

2 生育概況

1) 2月17日現在の生育状況（表1）

10月中旬播種区

- 草丈は、シュンライが12.9cmで平年をやや上回り、ミノリムギが14.1cmで平年を上回り、シラネコムギが14.7cmで平年を上回り、夏黄金が11.5cmで平年をやや上回った。
- 茎数は、シュンライが979本/m²で平年をやや上回り、ミノリムギが993本/m²で平年並、シラネコムギが1005本/m²で平年並、夏黄金が981本/m²で平年をやや上回った。
- 葉数は、シュンライが6.5枚で平年差+0.5、ミノリムギが6.5枚で平年差+0.2、シラネコムギが7.0枚で平年差+0.5、夏黄金が6.3枚で平年差+0.1であった。
- 葉色（GM値）は、シュンライが35.2、ミノリムギが31.8、シラネコムギが36.7、夏黄金が39.2であった。

10月下旬播種区

- 草丈は、シュンライが7.6cmで平年並、ミノリムギが9.1cmで平年をやや上回り、シラネコムギが10.2cmで平年並、夏黄金が8.7cmで平年並であった。
- 茎数は、シュンライが565本/m²で平年をやや下回り、ミノリムギが866本/m²で平年を上回り、シラネコムギが555本/m²で平年をやや下回り、夏黄金が541本/m²で平年を上回った。
- 葉数は、シュンライが4.8枚で平年差+0.3、ミノリムギが4.8枚で平年差±0.0、シラネコムギが5.5枚で平年差+0.5、夏黄金が4.8枚で平年差+0.2であった。
- 葉色（GM値）は、シュンライが44.2、ミノリムギが44.2、シラネコムギが40.3、夏黄金が45.7であった。

2) 2月17日現在の幼穂長及び幼穂分化程度（表2）

10月中旬播種区

- 大麦の幼穂長は、シュンライが2.4mmで平年差+0.7、ミノリムギが1.7mmで平年差+0.2mmであった。幼穂形成期始期はシュンライで1月6日、ミノリムギで1月20日に達している。
- 小麦の幼穂長は、両品種0.5mmで平年差+0.1であった。幼穂形成始期には達していない。

10月下旬播種区

- 大麦の幼穂長は、シュンライが1.0mmで平年差+0.2mm、ミノリムギが0.8mmで平年差+0.1であった。幼穂形成期始期はシュンライで2月19日で、ミノリムギは達していない。
- 小麦の幼穂長は、両品種0.2mmで平年差±0.0であった。幼穂形成始期には達していない。

3 栽培管理の状況

・踏圧については1回目を12月19日に実施した。

表1 生育状況

| 品種 | 区別 | 草丈(cm) | | | 莖数(本/m ²) | | | 葉数(枚) | | | 葉色(GM値) | | |
|--------|-------|--------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|-------|------|------|---------|-----|-----|
| | | 本年 | 前年比(%) | 平年比(%) | 本年 | 前年比(%) | 平年比(%) | 本年 | 前年差 | 平年差 | 本年 | 前年差 | 平年差 |
| シュンライ | 中旬播種区 | 12.9 | 113 | 114 | 979 | 114 | 105 | 6.5 | -0.5 | ±0 | 35.2 | - | - |
| | 下旬播種区 | 7.6 | 92 | 101 | 565 | 71 | 90 | 4.8 | -0.7 | +0.3 | 44.2 | - | - |
| ミノリムギ | 中旬播種区 | 14.1 | 108 | 118 | 993 | 104 | 98 | 6.5 | -0.7 | +0.2 | 31.8 | - | - |
| | 下旬播種区 | 9.1 | 103 | 113 | 866 | 98 | 134 | 4.8 | -1.3 | -0.0 | 44.2 | - | - |
| シラネコムギ | 中旬播種区 | 14.7 | 107 | 121 | 1005 | 103 | 101 | 7.0 | -0.1 | +0.5 | 36.7 | - | - |
| | 下旬播種区 | 10.2 | 100 | 102 | 555 | 55 | 85 | 5.5 | -1.1 | +0.5 | 40.3 | - | - |
| 夏黄金 | 中旬播種区 | 11.5 | 106 | 112 | 981 | 105 | 110 | 6.3 | -0.7 | +0.1 | 39.2 | - | - |
| | 下旬播種区 | 8.7 | 107 | 103 | 541 | 79 | 119 | 4.8 | -0.8 | +0.2 | 45.7 | - | - |

注1) 積雪により未調査の年があったため、平年値は調査を実施した過去5か年分の平均値とした。前年比・差、平年比・差はそれとの比較。

注2) 葉色は本年から測定を開始したため前年差、平年差はない。

表2 幼穂長及び幼穂分化程度

| 品種 | 区別 | 幼穂長(mm) | | | 幼穂分化程度 | 幼穂形成始期 | | |
|--------|-------|---------|-----|-----|--------|---------|---------|---------|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | | 本年(月/日) | 前年(月/日) | 平年(月/日) |
| シュンライ | 中旬播種区 | 2.4 | 2.8 | 1.7 | IX | 1/6 | 1/5 | 1/24 |
| | 下旬播種区 | 1.0 | 1.1 | 0.8 | VII | 2/19 | 2/12 | 3/3 |
| ミノリムギ | 中旬播種区 | 1.7 | 2.3 | 1.5 | VIII | 1/20 | 1/16 | 2/5 |
| | 下旬播種区 | 0.8 | 1.0 | 0.7 | VII | - | 2/13 | 3/4 |
| シラネコムギ | 中旬播種区 | 0.5 | 0.5 | 0.4 | VI | - | 2/23 | 3/4 |
| | 下旬播種区 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | V未満 | - | 3/6 | 3/19 |
| 夏黄金 | 中旬播種区 | 0.5 | 0.4 | 0.4 | VI | - | 2/24 | 3/6 |
| | 下旬播種区 | 0.2 | 0.3 | 0.2 | V未満 | - | 3/5 | 3/20 |

注1) 積雪により未調査の年があったため、平年値は調査を実施した過去5か年分の平均値とした。

注2) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

〔参考〕麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

| 品種 | 苞分化期 | 小穂分化期 | | | | 穎花分化期 | |
|-------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|--|
| | V | VI | VII | VIII | IX | X | |
| 小麦(シラネコムギ等) | 0.5 | 0.5~0.6 | 0.6~1.0 | 1.0~1.2 | 1.2~4.0 | 4.0~5.0 | |
| 大麦(シュンライ等) | 0.5 | 0.5~0.7 | 0.7~1.5 | 1.5~2.0 | 2.0~4.0 | 4.0~5.0 | |

注1) 幼穂分化程度はI~Xの10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。

令和6年播種（令和7年産）麦類生育調査ほ生育状況〔2月10日付調査結果〕

表3 麦類生育調査ほ 生育状況

| 担当普及センター | 品種 | 実施場所 | 播種期 | 草丈(cm) | | | 莖数(本/m ²) | | | 幼穂長(mm) | | | 葉色(GM値) |
|----------|-----------|---------|-------|--------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|---------|------|------|---------|
| | | | | 本年 | 前年比(%) | 平年比(%) | 本年 | 前年比(%) | 平年比(%) | 本年 | 前年差 | 平年差 | 本年 |
| 大河原 | シュンライ | 角田市島田 | 12/8 | 3.3 | — | — | 100 | — | — | 0.0 | — | — | 欠測 |
| | ホワイトファイバー | 大河原町金ヶ瀬 | 11/20 | 4.7 | 54 | — | 515 | 144 | — | 0.0 | -0.2 | — | 欠測 |
| 仙台 | シュンライ | 仙台市宮城野区 | 10/14 | 13.4 | 114 | — | 542 | 65 | — | 1.0 | -0.8 | — | 32.9 |
| 大崎 | シラネコムギ | 大崎市古川 | 10/19 | 10.2 | 70 | 99 | 1395 | 91 | 264 | 0.5 | 0.1 | 0.3 | 45.0 |
| 美里 | シラネコムギ | 大崎市鹿島台 | 11/30 | 5.4 | 37 | 56 | 330 | 33 | 56 | 0.0 | -0.2 | 0.0 | 欠測 |
| | 夏黄金 | 涌谷町猪岡 | 11/5 | 9.1 | 82 | — | 469 | 74 | — | 0.1 | 0.1 | — | 40.1 |
| 登米 | あおばの恋 | 登米市豊里町 | 10/28 | 9.2 | 89 | 102 | 438 | 96 | 196 | 0.0 | -0.4 | -0.2 | 42.6 |
| 石巻 | シュンライ | 石巻市桃生町 | 10/24 | 11.4 | 59 | 92 | 666 | 84 | 94 | 0.9 | -2.4 | -0.6 | 37.8 |
| | ミノリムギ | 石巻市桃生町 | 10/20 | 12.6 | 103 | 116 | 1003 | 117 | 145 | 1.4 | 0.1 | 0.5 | 41.1 |
| | シラネコムギ | 石巻市桃生町 | 11/1 | 13.9 | 154 | — | 624 | 66 | — | 0.2 | -0.6 | — | 34.3 |

- 注1) 平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値で、平年比(差)は平年値との比較。
 注2) 大河原町「シュンライ」は令和6年度播種から調査値変更のため、前年値(比・差)、平年値(比・差)はない。
 注3) 大河原町「ホワイトファイバー」は、令和元年播種から調査のため、平年値(比・差)はない。
 注4) 仙台市「シュンライ」は、令和4年度播種から調査のため、平年値(比・差)はない。
 注5) 美里「夏黄金」は令和元年度播種から調査地変更のため、平年値(比・差)はない。
 注6) 石巻市「シラネコムギ」は令和5年度播種から調査地変更のため、平年値(比・差)はない。
 注7) 「欠測」は未調査であることを示す。
 注8) 幼穂長において、観察の結果幼穂が確認できなかった場合は0.0と示す。
 注9) 葉色は令和6年度播種分から測定を開始したため、前年値、平年値はない。

<生育調査ほの状況等>

大河原 「シュンライ」、「ホワイトファイバー」

*R7年産から「シュンライ」の調査地を変更。

- ・12月～1月上旬はほとんど降雨がなく、気温も平年よりやや低温で経過した。
- ・「シュンライ」は播種が遅く、ほ場の乾燥、低温のため出芽日数が50日となった。
- ・「ホワイトファイバー」の出芽は順調であったが、ほ場の乾燥、低温のため草丈は小さい傾向であった。

仙台 「シュンライ」

- ・12月中旬が平年より平均気温が低かったが、その他の期間は平年より高く推移した。
- ・幼穂長は1.0mmで、幼穂形成始期に達した。
- ・ほ場の一部で鳥類（ハクチョウ等）による食害がみられた。

大崎 「シラネコムギ」

- ・12月第5半旬、1月第2半旬に積雪があったが根雪にはならず、1月後半は平年より気温が高い日が続いた。
- ・鎮圧や調査前の除雪作業が影響し、12月15日付調査時よりも草丈が低下した。
- ・幼穂長は0.47mmで前年同様生育が進んでいる。

美里 「シラネコムギ」、「夏黄金」

- ・「シラネコムギ」は1月4日に出芽揃いをむかえ、出芽揃いは良い。
- ・「夏黄金」はほ場全面に軽微な鳥害が見られた。

登米 「あおばの恋」

- ・草丈は、鳥類の食害により前回調査時（12月15日）よりやや短くなった。

石巻 「シュンライ」、「ミノリムギ」、「シラネコムギ」

- ・12月の平均気温は平年差 -0.6°C 、日照時間は平年比123%、降水量は平年比8%であった。1月の平均気温は平年差 $+0.4^{\circ}\text{C}$ 、日照時間は平年比117%、降水量は平年比57%であった。
- ・積雪による害はなかったものの、「ミノリムギ」において鳥害が発生した。